

村田俊典会頭 就任挨拶



皆さんこんにちは。4月より会頭に就任しました、双日ブラジルの村田です。

先月の昼食会にいらっしゃってなかった方もおられると思いますので、簡単に就任の経緯を説明します。

昨年11月理事30人の選挙で会頭に選ばれた三井物産土屋社長が、3月末にて会社を退社されたため当商工会議所の定款規則により会頭を辞任され、また、同じく定款規則により土屋前会頭の指名により私が新会頭に就任いたしました。

皆様どうぞよろしく願いいたします。

多くの皆様はご存知だと思いますが、私は2015年2月より2016年8月まで、藤井会頭の後を受ける形で会頭を務めた経験があります。今回は、会社は双日ブラジルになりましたが、2度目の会頭指名であります。

私は、気が付くとブラジル在住通算22年となりました。商工会議所の理事としての活動も長くなります。2000年代前半の活動と現在の活動を比較すると隔世の感があります。まさに、チャレンジする会議所の土台が整ったと思います。

また、会員が入会して良かったと思える活動も大変充実しています。セミナーの開催回数も増えましたし、昼食会の講演も役に立つ内容が数多くあります。また、日伯経済合同委員会、政策対話委員会、日メルコスールEPAタスクフォースなど、会議所がチームジャパンのとりまとめをして、日伯の双方にメリットになるような活動も進めております。このような、活動内容の充実が会員皆様のメリットになることは間違いありません。そして、ひいては会員数の増加につながると思っています。

進出日系企業の中には、商工会議所の活動内容を良く理解されず、コストを払うだけでメリットはないものと誤解され、入会されていない企業も多くあります。また、日本人の派遣社員がいないので、入会する必要がないと感じている企業もあります。

先ほど申し上げた、活動内容をさらに充実させ、そのメリットを色んな形で宣伝して、日系企業・地場企業共に更なる会員の増加を目指してゆきたいと思えます。

今、会議所では部会の再編や見直しなど、新しい時代に合わせた体制を、総務委員会を中心に実施しております。会員の皆様のご意見を広く頂きながら改革も同時に実行してゆきたいと思えます。ご協力をお願いします。

皆様のご指導を賜りながら会議所活動を盛り立てて行きたいと思えます。何卒よろしくお願い致します。